

(3) 女性のがん健康支援事業

事業名	女性のがん支援事業 健康増進普及月間における情報提供		
分野	<input checked="" type="checkbox"/> 啓発活動	<input type="checkbox"/> 健康教育	<input type="checkbox"/> 健康相談
事業費（千円）	6,652		

事業目的

今、日本人女性の乳がんが増えており、日本人女性の20人に一人が罹り、そのうち4人に一人が亡くなっていると言われております。本市の乳がん検診受診率も平成19年度実績で9.6%と全国平均（14.2%）を大きく下回っている。乳がん検診に関する正しい情報と知識の提供をすることで、検診受診率の向上を目指す。

事業対象

一般市民

事業実施体制・展開

- ① 9月の健康増進普及月間に合わせ、年間100万人以上の方が訪れる都内初の「道の駅八王子滝山」において、保健所として市民への正しい情報の提供等を含め「道の駅イベント」を開催する。「道の駅八王子滝山」所管課（農林課）及び施設管理職員とも調整を行い、9月5日（土）に実施することとした。
- ② 保健所内に専門職を中心としたPTを立ち上げ、各課の職員が討議を重ね、健康をテーマとした「食育」と「乳がん」についての普及啓発を実施することとした。
- ③ 「乳がん」については、保健所及び保健センター職員と連携し実施することとし、正しい情報の提供と普及啓発ということで、以下の内容を実施する。
 - (ア) 乳がん検診の検査項目であるマンモグラフィ検診の正しい情報提供ということで、マンモグラフィ検診車の展示を行い、実際に検査技師からの説明を受けることで、検診に対する理解度を深めてもらい、受診率向上を図る。
 - (イ) 乳がん非常に有効である「自己触診法」の講習会を開催し、自分のカラダに関心を持ち、自己触診を習慣へと行動変容につなげるきっかけ作りの場とする。
 - (ウ) 乳がんに関するパネル展示を実施し、市民の健康増進に寄与する。

事業目標・評価項目 及び その結果

- ① マンモグラフィの認知度 マンモグラフィということばを知っていた (61/65人)
- ② マンモグラフィ検診受診歴 マンモグラフィ検診を受診したことがある (40歳以上) (9/38人)
- ③ 参加者へのアンケート調査 満足度 参加して良かった (64/65人)
- ④ マンモグラフィ検診の理解度・満足度 技師の説明が良かった (46/65人) 機器を見学したのが良かった (44/65人)
- ⑤ マンモグラフィ検診の受診意図向上度 これからはマンモグラフィ検診を受診しようと思った (49/56人)

事業の工夫点

今まで集客のために方策を苦慮して事業実施をしたが、今回は年間100万人以上の来客がある都市型道の駅として、平成19年に開設した施設を利用することとした。そのため、事業内容を集中して検討することができた。また、道の駅はドライバーの休憩施設ということで、検診車という車を展示することで、ドライバーの興味や理解を得ることができた。さらに、保健所内だけではなく、他課（農林課・保健センター）や民間（道の駅）、地域との連携を図ることができ、次年度へつなげることができた。

事業の効果についての評価・考察

評価委員会において女性の健康づくりという観点から本事業の効果について検討した。

- ① 本市は乳がん検診受診率が低率であるため（平成19年度 市は9.6%、国 14.2%）、広報紙やイベントなどにより検診受診勧奨を実施してきたが、飛躍的な受診率の向上は見られない。しかし、今回の事業実施の中でのアンケート調査でも、例えばマンモグラフィ検診においては、実際に検診車を展示し、検査技師から直接検診内容の説明を受けたことにより、安心して受診できる環境を整えることができ、受診率の向上への効果が期待できる。
- ② 乳がんの自己触診法講習会を実施することで、自己触診の習慣づけのきっかけづくりとして、また、自分だけではなく、家族や友人への波及効果が期待できる
- ③ 普及啓発が行政だけで行うのではなく、多くの人が集まる「道の駅」という地域資源を生かした活動となり、民間との協働や地域との連携に発展する可能性がある。

今後の課題

普及啓発事業が受診率向上に寄与したかどうかの判断は難しく、また、即効性がない。しかし、継続して行うことにより徐々に効果が現れると思われる。費用対効果も含め、継続性のできる事業としての確立をする必要があり、行政内の協力体制はもちろんのこと、民間や地域をも巻き込んだ事業展開を推し進めなければならない。

ホームページ	http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryu/023382.html
照会先	東京都 八王子市 健康福祉部 保健総務課 健康づくり担当

事業評価	(企画評価委員会で評価)	
①活動内容	4.0	地域に密着した場を選定し、事業実施したことの評価は高い
②独創性	3.5	マンモグラフィ検診車の展示という初のこころみを実施した評価は高い
③普遍性	3.0	他の市町村へも取り入れることのできる内容であるが、検診車を活用しての検診を実施していない自治体も多い
④将来性	3.0	「道の駅」を場として活用することは大変良かったが、検診と道の駅がうまく合ったのかの判断は難しい
⑤効果度	4.0	アンケート結果から事業に対する関心度や市民サービスとしての質が高い評価を得ている
⑥信頼度	4.0	事業実施の主体である「はちおうじ健康づくり推進協議会」の参加団体の多くは、公的な団体であり、信頼がおける

